

市長キャラバン議事録

日 時 2018年1月28日(土) 10:00～11:30まで

会 場 吉川市市民農園研修室

参加者 20名(うち周辺地域の方9名、農園利用者3名、その他4名、
管理組合業務員4名)

出席者 中原市長

政策室 中村主幹、三宅副主幹

農政課 岡崎課長、油川課長補佐、片岡主任、都筑主任

議 事

発言者	内容
司会	・市長キャラバン趣旨説明 ・職員紹介
市長	旭地区の素晴らしさを発信していきたい。 前段として3点お話ししたい。 1 先人たちのまちづくりは素晴らしいものが多いが、時代や社会状況が変わる中で再生が必要である。市民農園も同じく開設当初の理念をパワーアップしたい。 2 旭地区の人口増加や活性化ができるのか、正しいのか議論したい。地元だけでなく、7万2千人の市民のための施設として、旭地区の素晴らしさを伝え、プライドを創り出し、住み続けられるような改修としたい。 3 否定は無し、提案を多くだしてもらいたい。 市民農園改修の機運が盛り上がってきている。春から設計に入りたい。
農政課 参加者 (グラウンド ゴルフ利用 者)	資料に基づき施設の現状を説明。 グラウンドゴルフについて ・芝生広場で毎週月曜・木曜に利用している。 ・芝生広場に、トイレ、水道を設置してもらいたい。 ・草刈りをする前には、事前連絡して欲しい。 ・休憩場所として東屋以外にも屋根のある建物を広げてほしい。

市長	<ul style="list-style-type: none"> ・上内川以外の方もグラウンドゴルフをできるようにすればいい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキューについても事業者の意見も聞きながら、どのような整備が必要か研究している。 ・未整備地区を含めて考えていきたい。グラウンドゴルフのコースは50M必要なので、コースがとれないのではないか。
参加者	<p>蛍について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸川の清流を「ほたるの里」にしたい。市の支援と協力をいただきながら活動し、子どもたちの喜ぶ姿が一番良い。 ・ほたるドームを整備したい。4間×10間 高さ4m ・ほたるドームの隣では、カブトムシも飼育したい。 ・50㎡区画の花壇スペースで井戸を利用したい。
参加者 (管理組合)	<p>農園管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通路の草管理が大変なので整備して欲しい。 ・上水道で農具、野菜を洗う方がいるので、もう一本水道を整備して欲しい。砂利駐車場の端。
参加者 (農園利用者)	<p>管理人さんの待遇改善をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年夏利用者が倒れて死亡した。複数の配置で見回りをしてほしい。 ・1人から2人体制にすると予算が掛るのはわかるが、安全管理のために待遇改善も含めて考えてほしい。 ・誰かの楽しいが、誰かに責任を押し付け、安全を脅かさない、負担にならないようにならないといけない。
農政課	<ul style="list-style-type: none"> ・人手が足りないということは現時点で、管理組合からは意見が出ていないが、利用者の安全が第一なので、今後も打合せを行って改善していきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費を掛けていくことは財政的には厳しい。市民農園でお金を生み出す仕組みを作る。例えば直販、バーベキューで稼ぐ。そのような改修を行いたい。
参加者 (農園利)	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDの整備だけでなく、酸素ボンベの設置をしてほしい。

用者)	
参加者	もみ殻を利用した再生エネルギーに取り組んでいる。
市長	農園の野菜くずなどは、再生しているのだろうか。
参加者	・現在、敷地に埋めている。
(管理組合)	
参加者	バーベキュー広場を整備すると、若い方が騒ぐ場合もあるので、今までの農園利用者が嫌な思いをするかもしれないので、隣合わせというのはどうなのかとを感じるので、未整備地区でワンクッションを置いた方がよいのでは。
(一般)	
市長	配慮した設計をしたい。
参加者	・市民農園を整備するときに国庫補助を使ったが、再整備にあたり制約はあるか確認したい。
(管理組合)	・旭地区のまちづくりのため、農政課の職員を常駐させてみてはどうか。
	・地域の人だけでなく、市民以外も集まるイベントを毎週してみたい。
市長	・人事の増員が難しい状況である。管理組合の法人化は、素晴らしい方向性だと考えている。
岡崎課長	・用途の制限はあるが、利用者のための施設を空いているときに開放するという考え方でいけば、ある程度の施設の整備は可能と考えている。
参加者	・工業誘致は考えていないのか。
(農園利用者)	
市長	・農地の転用は絶対にさせないという国の強い方向性がある。
	・既存の工業団地の拡張ということであれば可能性がある。旭の工業団地開発について、テクノポリス拡張に力を入れていく。
	・市全体で言えば、常磐道のスマートインターチェンジの両方向化に伴い、開発と農業拠点の整備を進めたいと考えている。
参加者	・要望を出すと、管理組合の負担になってはいけない。

<p>(農園利用者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを整備すれば、ウォーキングをしている方も利用できる。 ・子どもたちの公園がない。 ・高齢者などが集うカフェを設けたい。 ・お年寄りから子どもまで視野に入れる必要がある。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達とのランチミーティングでも公園が無いという意見があった。
<p>農政課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田園風景で人を呼び込む田んぼバーを検討している。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや親御さん少ないのは寂しい。旭地区・三輪野江地区の子ども達が減少しているからである。バス路線・交通網の整備など、人口を集める工夫が欲しい。江戸川堤防の菜の花など魅力が多い地区である。
<p>(周辺住民)</p>	
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園を核にして旭地区を知ってもらう方向性と地域の方に使って楽しく生活できるという方向性が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを増やすために、旭小学校では、タブレットを利用した授業をしている。旭地区に住んでいれば素晴らしい教育を受けられる様にして、地区から離れることを防いでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・旭小学校の通学では、朝の集団登校では安全が確保されるが、下校はバラバラで下校しているので課題である。送迎や見回り等で安心感を創り出したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市が、バス路線を復活させるのは難しい。その代り、3年間の実験で、タクシーチケットの配布を行っている。個々のニーズに合わせられる交通を考えたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全て行政が行うまちづくりはもうできない。利用者も管理者も力を合わせてまちづくりを行わなければいけない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・バス網の見直しは行っていく予定である。
<p>市長</p>	<p>まとめ</p>
	<p>いただいた意見を精査する。全部を一気に実現するのは難しいが、1期、2期分けるなど長いスパンで整備をしていきたい。</p>